

2015年 環境問題講演会

「原発事故の時代をキリスト者として生きる」

講演に寄せる思い

東京電力福島第一原子力発電所大事故発生から5年目。福島県内は『復興』の大きな掛け声が響いています。メディアでは頻りに子どもたちの「復興に役立つ人になりたい」とのコメントが取り上げられています。一方、原発事故サイトの厳しさは変わらず、廃炉工程は示されるものの、計画通りに進むのかどうかは不透明です。県外では耳にしないであろう人々の声や思いを伝え、原発事故後のキリスト者の生き方を、ともに考えたいと思います。

片岡輝美

日 時 2015年 6月28日(日) 午後3時から
場 所 日本キリスト教団 埼玉和光教会 参加費500円
〒351-0114 和光市本町 15-50 (048-461-2177)

講 師 片岡輝美氏(かたおかてるみ)
(放射能からこどものいのちを守る会・会津放射能情報センター代表)

講師紹介 1961年福島県生まれ。若松栄町教会員。1985年夫片岡舘也の日本基督教団若松栄町教会着任のため故郷会津若松へ。子どもは息子四人と長男の妻。



2005年九条の会・西栄町学習会を結成。

「自分のことばで平和を語る」をモットーに月例学習会やピースウォークや講演会などを企画。

2011年3月15日から2週間義弟宅(三重県鈴鹿市)に四男、妹親子と避難。会津若松に戻り、放射能からこどものいのちを守る会・会津(5月)と会津放射能情報センター(7月)を設立し代表となる。

著書『今、いのちを守る』(日本基督教団出版局)

共著『クリスチャンとして「憲法」を考える』(いのちのことば社)
『原発とキリスト教』(新教出版)

『わたしたちのこえをのこします』(ロシナンテ社編)

証言『終わらないフクシマ 女性たちの声』(いのちのことば社)
『それでも罪を問えないのですか！福島原発告訴団50人の陳述書』(株式会社金曜日)

主 催 日本キリスト教団埼玉地区社会委員会
問い合わせ先 Tel 048-555-2301(行田教会 清水与志雄)

第1回社会活動委員会のお知らせ

日時:6月21日(日)午後3時～ 場所:和戸教会

学習会:「知っていますか靖国神社」発題者:井川明氏(地区社会委員、川口教会員)